

者に働きかけ彼等と共同して闘ふことは闘争を有利に展開するためには必要である。

新幹部養成に關する件

(熊本支部提問)

吾々の闘争の基礎は崩落であるそれは労働者の闘争の基礎が工場であるのと同じだ従つて吾々はこの闘争の基礎である崩落に農民闘争の指導者を持たねばならぬ。然るに現在の如く崩落に於ける微細な闘争まで本部長の指導を受けなければやつて行けない様では何時までたつても吾々の運動は進展しないのだ、本現在の如く白アロのひどい時には何時本部長や支部の幹部は奪はれるか解らない若し吾々が本部長や支部の二三の幹部に闘争の指導をまかせ切りにして置いたなら吾々の運動は一頓本を束すであらう。吾々はおかゝる事を考慮し即時崩落に新幹部を養成せねばならぬ、そして暴徒によつて幹部が奪はれた場合は即時新幹部を以て指導部を再選し闘争を続けねばならぬ。

実行方法 カンパや争議の場合は必ず闘争委員会を組織しこの中で實際に闘争の指導にあたらせ訓練すること。平常も組織調査員等の仕事を受けたせ責任持つて仕事をさせること。研究会教育會講習會等によつて理論的教育を行ふこと。

労働者との提携の件

(北九州地区提問)

農民と労働者との提携の必要性については今更説明するまでもなく皆に解りまつてゐる事だ特に都市に接近せる吾々は如何にそれを感じてゐるのだ。何故かまらば市街地の衝突による区割整理に際し資本家地主のために作られた整理法案によつて農民の土地が強制的に引上げられる場合工事に従事する労働者との提携がなかつたならば目前の利害關係によつて相互の立場から労働者と農民との同盟が行はれるからだ。労働者と農民は共同の敵資本家地主と闘争する時には必ず下からの大衆的共同闘争委員会をもつて闘ふべきである。そのためには農民が闘争を開始せる場合は